

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

	まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ グループ討議記録		
地区	形原地区	回数	第1回
日時	2022年7月24日(日) 13:30-16:00		
参加者数	37名(第1回、第2回のみ参加の中学生4名を含む)		

1. 地区個別計画策定に向けた検討の進め方について

1) 公共施設マネジメントの考え方について

地区利用型施設だけでなく、他の施設と絡めて検討していきたい。

- ・ 地区利用型施設であっても全市利用型施設の計画と共に考える機会があったほうがよいのではないだろうか。
- ・ 今回対象となる公共施設だけでなく、他の公共施設との関係の中で検討をしていきたい。地区の町内会館もある。
- ・ 公共の施設だけでなく、広く公共的な場所(広場や公園など)との関係の中で検討をしていきたい。

2) ワークショップの進め方について

市民から直接問題点や課題を出してもらい進めていく点はよい。

- ・ 今回のワークショップにおいて、市民より直接具体的な問題点や課題を出してもらいながら進めていくのはよい。

小中学校の再編等は、教育委員会など専門家が決めればよい。

- ・ 小中学校の再編等の話は教育委員会など専門家が決めればよいのではないかと。我々住民が直接意見するものではないように思う。

事前に前回のまとめを送ってほしい。

- ・ 毎回のワークショップの前に、前回のまとめ(結果)を送ってほしい。事前に検討する内容を把握しておきたい。

参加者へ宿題を課してはどうか。

- ・ 第1回目は大雑把な基本方針を事務局から説明する回だと思うが、次回から参加者への宿題をつくっていただき、参加者が案を持ち込むような進め方にしてはどうか。

ワークショップでどこまで決めるのか。

- ・ ここでどこまで決めるのか。

会場が賑やかすぎたため、次回以降は集中できる環境で検討したい。

- ・ 今回の会場は賑やかすぎて、互いの声が聞こえづらかった。集中できる環境で検討をしていきたい。

施設整備の際には、他の施設も参考にすべきである。

- ・ 岡崎市西部地域交流センター「やはぎかん」は開放的な空間で自然と交流がうまれている。自分の目的とは違う情報に偶然ふれられることが、複合化の価値ではないだろうか。
- ・ 安城市北部福祉センターはとても利用しやすかった。先生が充実していて、手のかかる子どもを育てる母としては、大変助かった。

2. 地区のまちづくりや公共施設について

1) 地区のまちづくりの方向性

形原は自然豊かで住みやすい。

- ・ 自然が豊かなまち。漁業のまち。繊維ロープ工業のまち。
- ・ 形原地区はとても住みやすいと思っている。海も山もある。

今住んでいる若者が、将来も住み続けたいと思うような魅力あるまちづくりをしてほしい。

- ・ 小中学生からみてあまり魅力を感じないまちなので、魅力が感じられるようなまちにしてほしい。このまちに住み続けたいと思わせるようなまちづくりにしてほしい。
- ・ 地元愛が若い人たちに浸透していない(魅力がない)。
- ・ 市は若い人にもっとお金をかける(投資する)方がよい。

若い世代が移住したくなるようなまちづくりを進めてほしい。

- ・ 若いファミリー世帯が蒲郡に住みたくくなるような施策(住宅施策とか)を充実させてほしい。
- ・ 住みやすいまちづくりを進めて地区住民を増やし、財政を豊かにして施設を充実させてほしい。
- ・ 若い世代(10代、20代)が住んでもらえるまちづくりを目指す。そのために、Wi-Fi環境を充実させる。海が近く自然が豊かで、岩盤が固く地震に強い点をアピールする。

蒲郡は子育て支援に力を入れている点が良い。

- ・ 蒲郡市の施策として子育てに力を入れてもらっているのはよい。18歳まで医療費が無償となる施策はありがたい。

アクセス面が良好な割に地価が安い点は、蒲郡の強みだと思う。

- ・ 蒲郡は、電車で名古屋から岡崎に行くのと同じくらいで着くことができる。岡崎より地価が低いので、それがPR要素になると思う。

企業を誘致して、雇用創出につなげたい。

- ・ 蒲郡は、企業を誘致して次世代の産業を育てた方がいいと思う。昭和50年代、トヨタが蒲郡に誘致される予定だったが見送られたということがあった。あの時受け入れていれば今とは違った蒲郡になっていたと思うから。
- ・ 若い人が蒲郡に住んでもらうには企業誘致も含めて雇用の創出が課題である。

形原の魅力を発信し、インバウンドの観光需要を取り込みたい。

- ・ 海外からのインバウンド観光需要を取り込むまちづくりを進める。そのために、外からみた形原の魅力を発掘しアピールすることが重要。

形原のお年寄りはとても元気である。

- ・ お年寄りが元気なまち、元気過ぎるまち。

協力的な人が多い地域柄であるため、学校を含めた情報共有を密にすることで活動を広げ、地域の人々の活躍の場を作りたい。

- ・ 学校や地域が活動でたくさんの人の協力が必要な場合があるが、「やってあげよう」という気持ちは子供にも大人にもみんなあるので、地域と学校など情報をきちんと共有することができると思う。
- ・ 地域で活躍できる人は潜在しているので、情報を共有することで活躍の場をひろげたい。
- ・ 地域の方が部活動の先生の代わりになることで、学校の先生の働き方改革にもつながるし、地域の方の活躍の場にもなるのではないだろうか。
- ・ コミュニティスクールを担う地域の大人に限られているため、特定の人に荷重が大きいように感じる。もっと大きな動きにしていく必要がある。
- ・ 地域コミュニティが活発な地域。近所の人達が子どもの面倒をみってくれる。
- ・ 東北支援をきっかけに生まれた「形原おやじの会」がある。

コロナの影響もあり、人とのつながりが希薄になってきていることが心配だ。

- ・ 人とのつながりが希薄になっており、中学生の立場からも地域の方との交流の機会が少ないことは問題と感じている。
- ・ コロナがあり、子供と地域の交流だけでなく、異年齢の子供同士の交流も少なくなっていることが当たり前になってきてしまっており、心配である。

子ども会が消滅してしまった地区もあるが、工夫して継続している地区もある。なんとか継続していきたい。

- ・ 子供会がなくなってしまった。2区については年3回の子供会活動については続けるために役を地域で持ち回りにしている。
- ・ 子ども会の継続をなんとかしてほしい。子どもがいないわけではないのに、コロナなどが理由で子ども会が消滅したりする地区もある。

道路が狭く、今後の利活用が難しい地域もある。

- ・ 道路が狭く、特に古い町並みが残っているところはごみ収集車・救急車も入れない。重機を入れられないので建替えが高額となってしまう、空き家となってしまう。
- ・ 2区から3区は狭い道ばかりで今後の利活用が難しい地域である。
- ・ 道路を拓げようとしても、建替え時のセットバックや区画整理など、時間のかかる課題である。

形原中学校の近くにある踏切は、危険だと感じる。

- ・ 形原中学校の近くにある春日通と名鉄線路が交わる踏切が、交通量などの問題で危険を感じる。

2) 公共施設の現状や今後について気になること

【公共施設全般】

地域の人が交流できる場所がほしい。

- ・ 地域の人が交流できる場所があってほしい。

地域の良さを生かした遊びができる施設がほしい。

- ・ 地域の良さを生かした遊びができる施設があってほしい。

高齢者の身近に居場所がほしい。

- ・ 高齢者には移動手段がないので近くに居場所が必要。施設再編にあたり、身近な高齢者の居場所を残してほしい。
- ・ 高齢者のボンヤリ対策となるような居場所がほしい。高齢者の生きがいを考えてほしい。

中高生が気軽に使いやすい公共施設がほしい。

- ・ 中高生が気軽に使いやすい公共施設がほしい。

子ども会や部活動がなくなっているので、小中学生の居場所がほしい。

- ・ 子供会や部活動がなくなったため、公共施設でその代わりになる活動が行われたり、小中学生にとって利用しやすい公共施設を考えることが重要ではないだろうか。
- ・ 小学校は今年から部活動が廃止された。地区には小中学生の放課後の居場所がない。
- ・ 小中学生の居場所がなく、SNSやフォートナイト（オンラインゲーム）などオンラインでの交流になりがちだが、顔を合わせて交流できる場所もほしい。区内だとファミレスを使っているが、お金がないと使えない。

スポーツ利用ができる広い施設がほしい。

- ・ 卓球・空手などのクラブ活動やスポーツ利用できる広い空間が少ない。今は形原小学校の体育館の地域開放を利用しているが、もっとあったほうがよい。

地区の人口バランスを考慮した施設配置にしてほしい。

- ・ 形原小学校の地区と形原北小学校の地区で子ども達の人数が異なるので、そのバランスを考えた公共施設の配置になってほしい。

現在の施設は、利用制限や予約の取りにくさがあり、使いにくいと感じる。

- ・ 公共施設が全般的に、営利に関する利用制限が厳しく、体操の教室のような事業を企画して募集すると営利事業に位置付けられてしまうので、利用料金が集会施設では10倍、市民会館では2倍になってしまう。生徒が集まって開催するようなものはこの限りではない。
- ・ 予約が取りにくい。

【小学校・中学校】

小中学校と保育園が隣接すると、子ども同士の交流や親の送迎、災害時の避難などでメリットがある。

- ・ 小学校と保育園が隣接すると、子ども同士の交流や親の送迎などメリットがある。
- ・ 小中学校と保育園は災害時の避難連携（子ども達の手を引いて一緒に避難する）を考えると近くにあったほうが良い。

小学校の老朽化が心配だ。

- ・ 蒲郡市の小中学校は、総じて施設が老朽化している。
- ・ 小学校校舎の壁面の汚れ等が目立っており、老朽化も心配である。

【保育園】

形原保育園、形原北保育園は施設が古く、狭い。

- ・ 形原保育園、形原北保育園などは施設が古く老朽化している。
- ・ 形原保育園、形原北保育園は建物が古く、建物面積が狭い。施設更新で改善してほしい。
- ・ 形原保育園が小さい、古い。

0歳児保育のニーズは高いが、定員いっぱいでは預けられない。新たな受け入れ先の確保や定員を増やす必要がある。

- ・ 園庭開放をみると0歳児保育のニーズは多いと思うが、定員に達しており近くに預けられない。0歳児保育の定員を増やしてほしい。形原北保育園には0歳児保育がないので、新たに受入れを考えてほしい。

どの保育園も駐車場が狭くて足りない。

- ・ 各園とも駐車場が足りない。
- ・ 形原北保育園の駐車場が狭い。
- ・ 形原保育園は駐車場が少なく停めづらい。

保育園へのアクセスが悪い。

- ・ 形原保育園、形原南保育園への道路が狭く、車でアクセスしにくい。
- ・ 形原南保育園の傾斜が急である。

子どもが減っていくことを考えると、保育園を集約してもよいと思う。

- ・ 少子化で子どもが減るのに、保育園が3箇所も必要なのか疑問。施設更新や保育士の配置を考えると集約化してもいいと思う。

【児童館】

中高生にとって、児童館は小さな子どもが多く利用しづらい。

- ・ 児童館は小さな子どもが多く、中高生は利用しにくい。

児童館と公民館が集約すると、子どもと高齢者の交流が生まれてよい。

- ・ 児童館と公民館は同じ建物に集約すると、子どもと高齢者の異年齢交流が生れてよい。

児童館の雨漏りは、特殊なデザインが原因ではないか。

- ・ 児童館は雨漏りしたと聞いており、デザインが特殊なことが原因ではないかと思っている。

【公民館】

公民館は機能面で若者のニーズを満たしておらず、利用しづらい。

- ・ 公民館に自習室もあるが、おしゃべりしにくいので使う小中学生は少ない。小中学生が使いやすい環境があるとよい。Wi-Fi、ドリンクバー、ボードゲームなど。
- ・ 公民館は中学生が利用する(ニーズ)イメージがなく、若い人が入れるような雰囲気ではないというイメージがある。
- ・ スマホ世代のニーズに沿った娯楽がない(Wi-fi 環境が整備されていない)

公民館は高齢者にとって遠く、利用しにくい。

- ・ 高齢者には公民館は遠くて利用しにくい。

公民館の利用者が増加すると、新たな機能が併設されるなど相乗効果生まれるのではないかと。

- ・ 施設の魅力が向上し、小中学生が利用し一般利用も増えれば、カフェが併設されるなどの相乗効果も生まれてくるのではないかと。

【災害時の対応について】

形原南保育園は災害時には心配な面がある。

- ・ 形原南保育園は海に近いので津波・高潮・豪雨時に心配だ。
- ・ 形原南保育園は広域避難所の中学校への移動に線路やアップダウンがあって園児を連れての移動が困難。
- ・ 形原南保育園は避難所になっているが、高台にあって高齢者は避難しにくい。

地区の防災無線は、雑音が多く聞こえづらい。

- ・ 地区の防災無線が聞こえにくいことがある。雑音が多い。

【アクセス・駐車場について】

どの施設も駐車場が少なく、利用しづらい。

- ・ 駐車場がどこも少ないため、公共施設の利用がしにくい。
- ・ 公園等に駐車場はあるが、双太山公園など人気があるところはすぐに駐車されてしまう。

イベント時などはバス送迎などの工夫もできないか。

- ・ イベント時や部活利用時など、駐車場をサテライト的に確保し、そこからバスなどで送迎といった方法もあるのではないだろうか。

くるりんバスをもっと活用できるとよい。

- ・ くるりんバスの利用促進をしていきたい。
- ・ ドライバーの高齢化が心配であるため、くるりんバスの運行を充実させるなどの対策があるとよい
- ・ くるりんバスは本数が少なく使えない。
- ・ コミュニティバスは主に高齢者の病院への通院の足として利用されているイメージである。一般の人の利用を促進するのであれば週 3、4 便では少ない。利用したい時に利用できないという現状である。ただし、便を増やせばそれだけ経費もかかるので単純に増やせばいいというわけでもない。

【その他】

地区集会所を世代や利用目的にとらわれず、幅広く活用したい。

- ・ 地区集会所はあまり利用されていない。または利用しにくい。高齢者の利用ばかり。
- ・ 3区集会所は子ども会やサロン活動など積極的に利用している。4区はあまり使われていない。地区によって状況は違う。
- ・ 地域の企業に地区集会所の有効活用を提案してもらおうとよい。例えば中学生向けの職業体験講座は中学生も関心をもつし、企業も人材確保につながってメリットがある。
- ・ 真如寺さんは御朱印や境内でライブなど若者向けイベントを積極的に企画開催している。集会所の活用もアドバイスがもらえないか。
- ・ 防災活動、若い母親の利用、若い世代の利用を進められるとよい。

西部市民センター跡地は土地としての課題もあるが、駅前で便利な場所であるので、地元と十分に協議をしながら活用の検討を進めてほしい。

- ・ 西部市民センター跡地は市民が喜ぶようなものをつくりたいが、狭いのが課題
- ・ 西部市民センター跡地は、津波が心配な立地である。
- ・ 西部市民センター跡地利用については、地元の意見を十分に聞いて進めてほしい。
- ・ 駅から近く便利な場所なので以前のように支所機能(住民票の発行等)があるとよい。
- ・ 別の場所(公民館やコンビニ等)に住民サービスとしての代替機能があるが、お年寄りが利用するには不便であり、やはり支所機能が駅の近くにあると便利である。
- ・ 繊維ロープ工業の盛んな地域なので、記念のモニュメント等があるとよい。

ユトリーナ蒲郡の今後の方針が知りたい。

- ・ 全市利用型施設ではあるが、ユトリーナの今後の方針などが知りたい。

乳幼児が安心して遊べる場所が少ない。トイレが綺麗な公園ができると良い。

- ・ 乳幼児（子ども）が安心して遊べる場所が少ないと感じる。公園でもいいが、そこが綺麗であることが重要（特にトイレ）。市街地の方には特に公園が少なく感じる。

今ある図書館分室は使いづらい。跡地利用や複合化で利用しやすい図書館機能を設けたい。

- ・ 形原に学習室のある図書館がほしい。跡地利用等で考えられないだろうか。
- ・ 形原地区には図書館がないので図書館があると学生の利用につながる。現在はデンソー太陽（株）の施設を市の図書館の分室として利用しているが、子ども達が入れるような雰囲気ではないと思う。
- ・ 文化広場に図書室の分室があるが、スポーツ施設の中に図書室があるため利用しづらいのではないか。
- ・ 図書館がないので西部市民センター跡地に図書館機能をも設けてはどうか。
- ・ 形原北保育園は西部子育て支援センターも併設しており、誰でも利用できるようになっているが、こういった複合機能を設けることが可能であれば、図書館も併設することもできるのではないか。

金平テニスコートは、夜間駐車場が暗いため、照明があると良い。

- ・ 金平テニスコートは、夜間駐車場が暗いため、照明があると事故防止につながる。

一色不燃物最終処分場の跡地を、公園などみんなが使える場所にしてほしい。

- ・ 一色不燃物最終処分場を将来的に更地にするという計画があると聞いた。もしそうであれば跡地利用については、緑地や公園などみんなが使える場所にしてほしい。

形原テニスコートが地図に無いのはなぜか。

- ・ テニスコートについて、金平は地図に表記されているが、下市場は表記されていないのはなぜか。

空き家や空き地を市が買い取り、有効活用できないか。

- ・ 空き家を市が「公共施設」として、使えるようにするのはどうか。
- ・ 民間のまとまった空き地を市が買い取るなどして有効活用してほしい。